公明党横浜市会ニュース

あんざい通信

KOMEITO 公明党 横浜市会議員（港南区） 安西 ひでとし

Vol.106

コロナ対策へ予算187億円

横浜市会定例会が6月23日に開会しました。横浜市では国の第2次補正予算の成立を受け、コロナ対策として187億円の追加補正予算が計上されました。

施策の3本柱として▽第2波・第3波に備えた万全の医療提供体制の確保▽横浜経済と市民生活を守る支援▽「新しい生活様式」への対応と学校再開の支援――を掲げ、様々な支援策に取り組みます。主な事業・取組は下記に示す通りです（抜粋）。

公明党横浜市会議員団では横浜市民の「くらしと経済」を守るため、ネットワークを生かして国へ様々な対策を要望してきました。迅速かつ的確な支援策が実施できるよう、しっかりと審議を行ってまいります。

6月補正予算案 くらし・経済対策について【主な施策を抜粋】

市民と医療を守る

■PCR検査強化事業
再度の感染拡大に備え簡易検体採取の体制を強化するとともに要介護状態にあるなど外来受診が困難な方でもPCR検査を受けられるよう、往診等による検査体制を整備します

■PCR検査費等の自己負担助成事業

■新型コロナウィルス感染症病床確保協力金事業
4月以降、重症・中等症患者を受け入れる病床を確保してきた医療機関に対して本市独自の協力金を国の基準単価に上乗せして支給します。

- **避難所等における災害対策備蓄事業**
- **医療機関、高齢者施設、障害児・者施設、医療的ケア児・者等に対する感染防止資器材の配布**

横浜経済と市民生活を守る

■中小企業の「新しい生活様式」対応支援事業
「新しい生活様式」に対応するための経費を補助するとともに、その取組を様々な媒体を通じて広く発信することで他の企業・店舗等にも普及させるなど、市内経済の好循環を生み出します

- **テレワーク導入促進事業（補助件数追加）**
- **市内観光・ＭＩＣＥ復興支援事業**
- **ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業**
- **市内のアーティスト等の文化芸術活動緊急支援事業**
  低所得のひとり親世帯について、感染症の影響による子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を給付します

■新型コロナウィルス流行下における妊産婦等総合対策事業
国制度に基づく「分娩前のウイルス検査」や「育児等支援サービス」等に加えて、本市独自に「安心して受診できる乳幼児健診」を行うなど、妊産婦等に寄り添った総合的な支援を実施します

■福祉サービス継続支援事業
利用者や職員の感染等によって特別な体制でのサービス提供を行うなど、経費が増大している各種福祉サービスの事業者に対し、かかり増し経費を助成します

新たな日常に取り組む

- **児童生徒の学びを確保するための体制強化事業**
  段階的に再開した学校の教育活動を充実し、児童生徒の感染リスクを抑えながら授業を継続するため、退職教員や教職課程の学生をはじめとする大学生等、幅広い人材を活用することで、児童生徒に対する教育支援体制を強化します
- **学校施設における感染症対策教育環境向上事業**
  学校施設における感染症対策を徹底しつつ、子どもたちの学習機会を保障するため、感染防止資器材等、学校に応じて必要な備品等を購入します
- **特別支援学校スクールバス感染症対策支援事業**
  授業時間を確保するため、特別支援学校に通う児童生徒が使用するスクールバス運行回数を追加。また医療的ケアが必要な児童生徒が安心して通学できるよう福祉車両を運行します

ご意見・ご相談
TEL：045-671-3023　FAX：045-681-2060
HP:http://anzai-hidetoshi.com